

2 日本文化を世界に発信するための国立京都国際会館における5,000人規模の多目的ホールの整備

(財務省・国土交通省・観光庁)

京都は、1200年を超える悠久の歴史の中で磨き上げられた華麗で繊細な文化・芸術が息づく山紫水明のまちであり、御所や迎賓館を有する日本文化の神髄ともいえるべき「和」の美意識の発祥の地でもあります。こうしたことから国際会議等の参加者に我が国の歴史・文化に直接触れることを通じて、我が国への理解を深めていただくことは京都の責務であると考えており、この責務を果たすため、国際社会における我が国の国力向上にもつながる、国際会議の誘致を推進していかなければならないと考えております。

しかしながら、国際会議の規模の大型化・形態の多様化の傾向が顕著となる中、現行では1,840名しか収容できないという圧倒的なスペース不足のために、京都が国内の選考段階で外され、結果として他国開催となったケースも多くなっています。

また、施設規模だけでなく、展示等のスペースにも利用可能な多目的施設であることも求められており、シンガポール、中国等のアジア諸国をはじめ世界各国では、こうした会議の大型化・多様化に対応できる施設が整備され、5,000人が収容でき、それに見合う展示ができる多目的ホールが世界のスタンダードとなっています。

つきましては、世界に向けた日本文化の発信に貢献するため、国際的な競争力を有する施設として当会館を整備いただきたく、次のとおり求めます。

提案・要望事項

日本文化を世界に発信するための国立京都国際会館における5,000人が収容でき、それに見合う展示ができる多目的ホールの早期整備 京都市・京都府共同提案

所管の省庁課：財務省（理財局国有財産業務課） 国土交通省（大臣官房官庁営繕部計画課）
観光庁（観光資源課）

京都市の担当課：総合企画局 政策企画室 担当課長 金谷勝巳 TEL 075-222-3033
産業観光局 観光MICE推進室 担当部長 九鬼令和 TEL 075-222-4133

現 状

◆ 国内外の主要な国際会議場の状況

国名	会議場名	メイン 会議場 収容人数	メイン 展示場 面積
日本	国立京都国際会館	1,840名	3,000㎡
日本	国立横浜会議場(パシフィコ横浜)	5,000名	20,000㎡
日本	東京国際フォーラム	5,000名	5,000㎡
韓国	コ엑ス会議・展示センター(ソウル)	7,000名	10,000㎡
中国	香港会議・展示センター	8,000名	20,000㎡
シンガポール	シンガポール国際会議・展示場	12,000名	12,000㎡
オーストラリア	メルボルン国際会議場	5,500名	30,000㎡

国立京都国際会館 (S41年～)



外観



大会議場(1,840名収容)

○ 5,000名が収容でき、それに見合う展示ができる多目的ホールが世界のスタンダード

課 題

◆ 国立京都国際会館のスペース不足により、開催が見送られた会議の事例

年度	国際会議名	要請スペース	開催地
25	国際小児科学会	5,000人規模の会議スペース、12,000㎡の展示場	オーストラリア
25	国際腎臓学会	3,000人規模の会議スペース、10,000㎡の展示場	香港

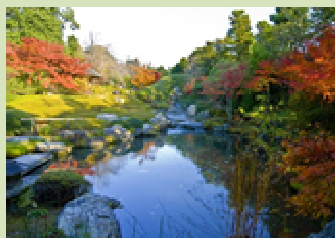
※ スペース不足により、駐車場に5,000㎡の仮設テントを張り、開催された会議の事例

22年度 日本循環器学会総会・学術集会 (18,000人規模)

23年度 国際血栓止血学会 (4,600人規模)

24年度 日本整形外科学会学術総会 (10,000人規模)

多目的ホールを新たに整備することによる効果



豊かな自然環境

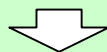


宗教や芸術文化の集積



高品質な伝統工芸

日本文化の神髄ともいべき京都で国際会議を開催することで日本文化を世界に発信する。



国際貢献の機会を増やし、国際社会における日本の国力向上に大きく寄与することができる。